

フォトニュース

「夏季農林産物品評会」を開催

▶ 7月21日に道の駅いながわにおいて、夏季農林産物品評会が開催され、町内の農業者から合計116点の出品があり、県知事賞をはじめ、町長賞など9人が受賞されました。



また、品評会終了後には、出品された農林産物の即売会が開かれ、見事な野菜を買い求める多くの人で賑わいました。

▼ 8月1日、子育て支援センターで「ふたご・みつご交流会」が開催され、ふれあい遊びやパネルシアター観賞などを通して、子どもたちだけでなく保護者の交流も深まりました。日頃の子育ての悩みなどを聞いたり、話したり、支援員のアドバイスも受けながら有意義な時間を過ごしました。同センターでは、様々なイベントを企画していますので、広報いながわなどでチェックして参加してくださいね！



「ふたご・みつご交流会」を開催



「楽しい夏祭り」 ～町内各地で開催中～



▲ 町内の各地域で夏祭りが開催されています。昔ながらのやぐらを組んで盆踊りを楽しむ会場や、ステージ上に地域の団体やゲストを招きダンスやコンサートを行うなどさまざまなステージ上のゲストと観客が一体となりツイストを踊り盛り上がるシーンも見られました。また、ペットボトルキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届けよう、と、中学生が呼びかけを行うなど、それぞれの特色を生かし、工夫を凝らした夏祭りとなっています。

明治24年の資料では、戸数613戸、人口3千467人となっています。



▲六瀬村の選挙人名簿

は中谷村が成立しましたが、北部では島村外七カ村戸長役場区域、および木津村外六カ村戸長役場区域の村々が合併して六瀬村となりました。

議員は30歳以上の村公民の中から村長・助役を選出しました。当時の「公民」とは、名譽職の選挙・被選挙権を持つ者を指し、その権利を「公民権」と呼びました。公民は、住民のうち25歳以上の男子で、一戸を構え、町村費などの納入を分担し、地租あるいは直接国税2円以上を納入するなどの条件がありました。また、財産によって選挙権に格差がある等級選挙制がとられ、大正10（1921）年の町村制改正で廃止されるまで不平等は続きました。

いながわ 歴史ウォーク 113

六瀬村の成立

明治22（1889）年、町域南部では中谷村が成立しましたが、北部では島村外七カ村戸長役場区域、および木津村外六カ村戸長役場区域の村々が合併して六瀬村となりました。

ご利用ください！



「クールスポットで」快適な自習を！



▲ 町では家庭における節電対策の一環として、公民館の一部（工作室）を8月末まで開放し、快適な学習の環境を提供しています（休室日：19日・20日・27日）。



▼ 町では夏休みの期間中、町内の小・中学生にふれあいバス（町内公共施設循環バス）を利用していただき、「環境」や「地域のバス」の大切さについて考える機会をもつていただこうと、無料チケットを配布しています。図書館に行くために同バスを利用した中学生たちは、「友達と乗って楽しかった！また利用したい」「ふれあいバスのクイズ（車内に掲示）、間違えちゃった…」など、笑顔いっぱいに答えてくれました。乗る時のマナーなどの掲示もしていますので、夏休みの体験のひとつにぜひ乗ってみてください！詳しくは、企画財政課（☎766-8711）へお問い合わせください。



「ふれあいバス」 もう乗りましたか？



▲ 沖縄のイメージを思いつくまま海の中にとじこめました。
新村 瑠里さん（3年）



猪名川中学校



▶ 首里城とシーサーを共に細かく描きました。
田村 一真さん（3年）



◀ 沖縄の海と沖縄の桜を描きました。首里城を竜宮城にたとえて表現してみました。
永原 和樹さん（3年）



◀ 沖縄の美しい自然やエイサーなどをたくさん色を使って表現しました。
葛西 寿麻さん（3年）

修学旅行で訪れた沖縄のイメージを『砂絵』で表現しました。

